

令和7年度 「斐太北の教育」～家庭・地域とともに育てる斐太北の子～

	目標 評価方法：児童・保護者アンケートの実施 職員の自己評価	学校では次のことに力を入れて指導します！	ご家庭へのお願い
確かな学力	〈教科の学習等〉 ○「学校が楽しい」と感じる児童 95%以上 ○「学習がよく分かった」という児童 90%以上 ○自分に必要な学習を選択して行うことができた児童 80%以上 <みらい学習> ○「いろいろな人やものに関わり合いながら活動する中で、課題を解決することができた」という児童 90%以上	1 授業改善 - 児童が課題や時間、順序、方法、難易度などを「自己選択・自己決定」する場面を取り入れた授業を行っています。 - ESDの能力・態度を育成するために、一人一人の主体性と価値ある体験を大切にしてみらい学習を中核に、各教科や行事と連携した教育活動を充実させていきます。 2 家庭学習 - 学年に応じて、自分に適した学習に取り組めるように指導していきます。児童にとっての自主学習の意味や価値を高められるように、家庭での学習の進め方を選択できるようにしたり、その見取りからアドバイスをしたりしていきます。	◆学んだことの意味や価値を深めるために - 学校での学習や生活の様子について、ご家庭で話題にしたり、保護者の方の思いを伝えたりして、お子さんの学びに積極的に目をかけていただきますよう、お願いします。 ◆お子さんが毎日安心して学習に取り組むために - 連絡帳に目を通し、サインをご記入ください。忘れ物がないこと、学習用具や学習環境が整っていることは学校での安定した学習につながります。 ◆「低学年 20～30 分」「中学年 30～40 分」「高学年 50～60 分」を目安とした、家庭に帰ってからの学習に取り組むために - 各家庭で、お子さんに必要な家庭での学習をお子さんとともに確認したり相談したりして、家庭で身に付けさせたいことをお子さんと共有できることが望ましいです。保護者の方の願いとお子さんの家庭での頑張りが合致することがお子さんの更なる成長を支えます。
豊かな心	○いろいろな学年の友達と仲良く遊べる児童 90%以上 ○誰にでも進んで元気なあいさつをする児童 90%以上 ○自分が決めためあてに向かって頑張っている児童 90%以上 ○自分の好きなことや得意なことが言える児童 90%以上	1 縦割り班活動 - フレンド班活動での異学年交流を、休み時間にも広げられるように活動を工夫します。 2 あいさつ 1学期は、「あいさつ」「リアクション」の大切さや意義を指導し、子ども同士のつながりを大切にしていきます。 - 今年度は、誰にでもあいさつしようとする意識を高めていきます。 3 自己の言動を振り返る活動の重視 - 学期始めや活動の前などにめあてを立て、活動に振り返ることで、自分の生活をよりよくしようとする意識を高めます。 4 一人一人を大切に - 差別やいじめにつながる言動にはすぐ対処します。 - 児童アンケート（毎月）、ふれあい旬間（教育相談 6月、11月）、いじめ見逃しゼロスクール集会、人権教育、同和教育の授業などを全校で行います。 - いじめ見逃し基本方針はHP参照。	◆楽しく安全な学校生活が送れるように - お子さんの気持ちに寄り添い、お子さんが話しかけたときに、じっくりと聞いてください。 ◆進んで元気なあいさつができるように - あいさつの習慣化のためには、大人から進んであいさつをしましょう。返事や言葉遣いなども正しく身に付けられるように声掛けをお願いします。 ◆正しい行動を身に付けるために - お子さんのよさや頑張りを認めていただき、また、間違った言動のときには、正しい行動の仕方を教えてください。 - お子さんが自分で決める機会を大切にいただくことで、自信と責任が育ちます。 ◆社会のルールを身に付けるために - みんなが気持ちよく生活するためのマナーとルール、メディアとの付き合い方について、家庭で話題にしてください。
健やかな体	○体力テストの重点種目で記録が向上した児童 70%以上 ○運動することの楽しさを感じることができた児童 90%以上 ○規則正しい生活を送ることができた児童 90%以上 ○メディアのきまりを学期に1回以上話し合っている家庭 90%以上	1 体育授業の充実 - 体を動かすことの楽しさを体得させる授業を実施します。ICTを活用し、児童の技能を高めたり思考力を育んだりしていきます。 - 体力テストを実施して、子どもたちの体力実態を明らかにし、授業内容を工夫して改善に取り組んでいきます。 2 自分の体と健康を知る活動の工夫 - 規則正しい生活リズムで生活することの大切さやメディアとの関わり方等を指導します。 - 性教育を通して、自他の体と心を大切にすることの重要性を指導します。 3 委員会活動と連携して行う、元気アップタイムの実施 - 学校行事などと連動させながら体力アップにつながる運動を、健康委員会と連携して実施します。	◆家庭や地域で体力向上を - お子さんに励ましの言葉をかけてあげたり、お子さんと一緒に体を動かしたりしていただくと、体力だけでなく意欲も高まります。 ◆望ましい生活リズムの確立のために - 健やかな体の育成には、規則正しい生活リズムの確立が不可欠です。リズムづくりチャレンジを活用し、各家庭でめあてを決め、毎日同じリズムで生活するようにしてください。また、メディア利用宣言の約束を学期に一度は親子で一緒に話し合い、決めたルールを意識して生活してください。 ◆望ましい食習慣を身に付けるために - 主食・主菜・副菜のそろった、バランスのとれた食事を心掛けてください。 - 正しい食事のマナーが身に付くように、くり返し声掛けをお願いします。

特別支援教育

◎一人一人を大切にし、助け合い支え合おうとする心や態度を育てます。

◎自立し、社会参加できる基盤となる力を育てます。

一人一人が「分かった！」「できた！」と学ぶ楽しさを感じながら、基礎学力を身に付けるために、学習環境を整えます。

あたたかい気持ちで、誰にでも優しく分け隔てなく接する子どもを育てるための、授業や指導を行います。

お子さんやご家庭の困り感に寄り添った指導支援を行うために、教育相談・校内委員会を行います。ケースによって専門機関とも連携します。

保護者・地域の皆様に、特別支援教育についての理解を深めていただくための場を設けます。（説明会・移行学級・報告会）

